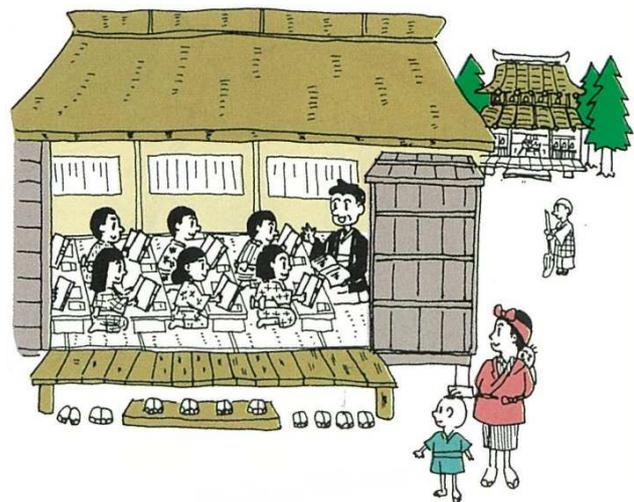


7. 学校の移り変わり

学校の移り変わりについて調べよう

1891年(明治24年)ごろになると奈井江町に移り住む人々が多くなるにつれて、子どもの数も増え、その教育をどうするかが、人々の大きななやみでした。

1892年(明治25年)に香川県から移ってきた折目初太郎さんが、その年の11月から1年間、15号西1線の自宅に近所の子ども4～5名を集めて、仕事の合い間に読み書きそろばんを教えました。その後、まちの中にあるお寺や高島地区にあるお寺で、子どもたちの教育が行われるようになりました。このように他の開拓地と同じように奈井江町の学校は、寺子屋式からはじまりました。



【寺子屋】

7. 学校の移り変わり

(1) 奈井江小学校

奈井江小学校は 1895 年(明治^{めいじ}28 年)に「私立^{しりつ}奈井江小学校」^{はじ}として始まりました。

「私立^{しりつ}」とよばれたのは、^{ちいき}地域の人たちが子どもたちにより良い^よ教育^{きょういく}を受けさせようと、いろいろと^{そうだん}相談をして、お金を出し合^{つく}って作ったからです。

1896 年(明治^{めいじ}29 年)に^{えき}駅^{たてもの}の建物^{りょう}を利用した、村のお金で^{じんじょう}うんえいする公立の「奈井江尋常小学校」となりました。

1900 年(明治^{めいじ}33 年)に学校は、13 号に^{うつ}移りました。このころの学校は 4 年間の^{ぎむきょういく}義務教育^{めいじ}でしたが、1906 年(明治39 年)には^{こうとうか}高等科^{じんじょうこうとう}3 年ができて「奈井江尋常高等小学校」になりました。

^{ぎむきょういく}義務教育^{めいじ}が 6 年間になったのは 1908 年(明治41 年)からです。

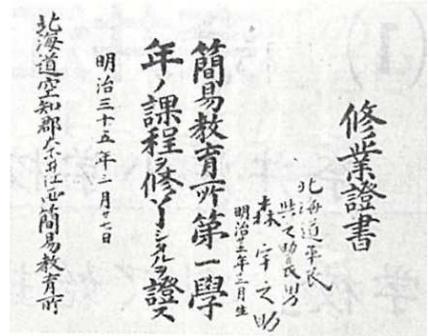


【明治のころの小学生の服装】

7. 学校の移り変わり



みなみ ごうひがしかんい きょういくじょ
【南九号東簡易教育所】



みなみ ごうひがしかんい
南九号東簡易教育所（明治36年
はいごう しゅうぎょうしょうしよ
廃校）の修業證書

めいじ ふう きもの
明治のころの子どもの服そうは、「もめん」の着物でした。

冬は足に「きゃはん」をつけていました。子どもの夏のはき

物は家で作った「ぞうり」で、冬は わらであんだ「つまご」

などでした。勉強道具は「ふろしき」に包んで持ちました。

めいじ たかしまちく せつきょうじよ
1893年(明治26年)高島地区のお寺にできた説教所は、

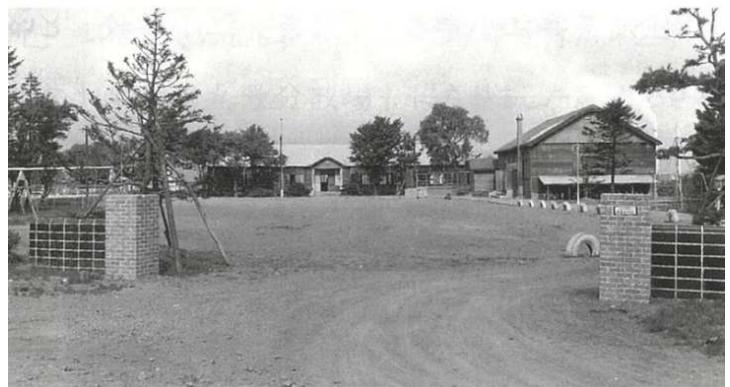
めいじ
1900年(明治33年)

たかしまかんい きょういくじょ
「高島簡易教育所」に

きょうごく
なり、同じ年に京極

ちく きょうごくかんい
地区にも「京極簡易

きょういくじょ
教育所」ができました。



たかしまじんじょう
【高島尋常小学校】

7. 学校の移り変わり

1946年(昭和21年)にそれまで、美唄町だった奈井江川より南の京極、茶志内、高島の3つの地区が奈井江村になりました

1947年(昭和22年)に学校の仕組みが新しくなると高島国民学校は「高島小学校」になり、京極国民学校は「南小学校」になりました。子どもの数が少なくなったり、学校の建物が古くなったことにより1975年(昭和50年)、高島小学校と南小学校が統合して「江南小学校」ができました。

1898年(明治31年)大和地区に「南九号西簡易教育所」が、1901年(明治34年)白山地区に「南九号東簡易教育所」ができましたが、1909年(明治42年)に「奈井江尋常小学校南九号分教場」になり、1934年(昭和9年)に「白山尋常小学校」になりました。

昭和に入ると日本は少しずつ戦争の時代へと進んで行き、いろいろな工場でたくさんの石炭を使うようになりました。

7. 学校の移り変わり

奈井江町では、たくさんの炭鉱が開かれ、奈井江町に移り住む人々の数が多くなり、子どもたちの数も増えました。そこで1939年(昭和14年)に東奈井江地区で、1940年(昭和15年)に住友地区で、奈井江尋常高等小学校の分教場ができました。

1941年(昭和16年)4月に尋常小学校を「国民学校」とあらため、それぞれ「奈井江国民学校」「白山国民学校」「東奈井江国民学校」「住友奈井江国民学校」になりました。住友奈井江国民学校では、子どもがの数が多くなって教室がたりなくなり、低学年が帰ったあとに高学年が登校して勉強することもありました。

1945年(昭和20年)8月に日本が戦争に負けると社会の仕組みがいろいろと変わりました。

7. 学校の移り変わり

1947年(昭和22年)に学校の仕組みも変わり、「奈井江小学校」「白山小学校」「住友奈井江小学校」「東奈井江小学校」というようになりました。

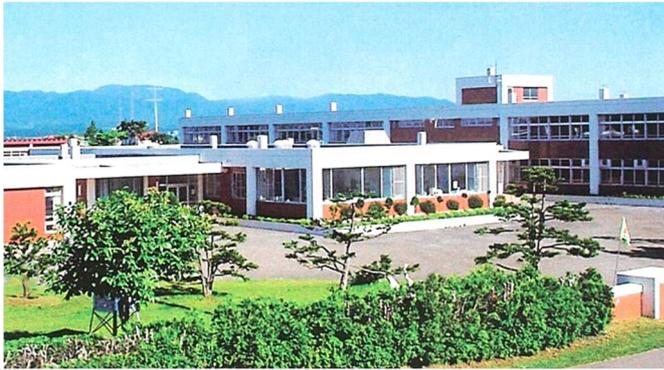


【昔の奈井江小学校】

石炭があまり使われなくなってくると人々の数も減り始め、子どもの数も少なくなりました。そのため、1974年(昭和49年)には住友奈井江小学校、東奈井江小学校、奈井江小学校が1つになり、今の場所に学校が建てられました。その後、1988年(昭和63年)4月に白山小学校が奈井江小学校に統合されました。

小学校は、奈井江小学校と江南小学校の2校となりましたが、子どもの数が減っていったので、学校行事なども含めて楽しく学んでいくため、保護者や地域の人たちと話し合いを重ね、2013年(平成25年)に奈井江小学校と江南小学校を閉校して、新たな奈井江小学校を4月に開校しました。

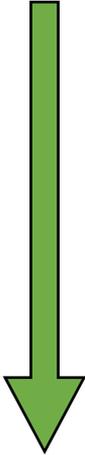
7. 学校の移り変わり



【旧 奈井江小学校】



【旧 江南小学校】



【旧江南小学校 石碑】



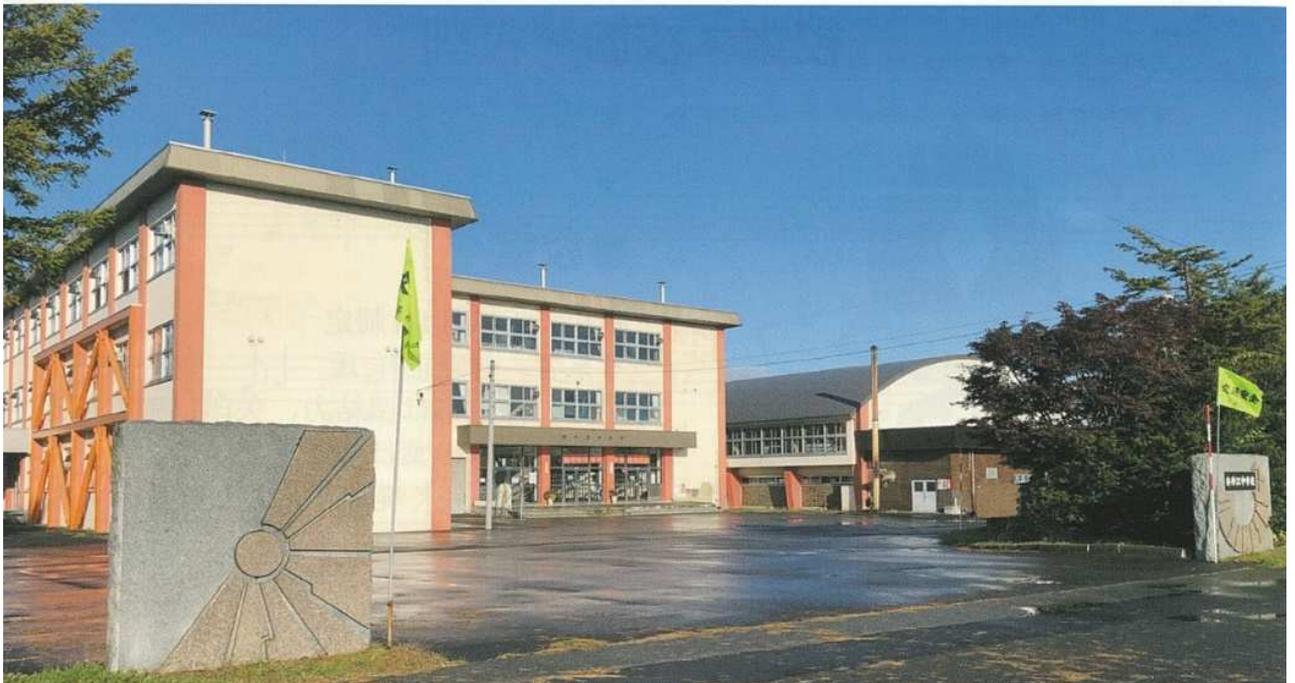
げんざい
【現在の奈井江小学校】

7. 学校の移り変わり

(2) 中学校と高等学校

1947年(昭和^{しょうわ}22年)、新しく中学校がつくられ、小学校から中学校までが義務^{ぎむきょういく}教育となりました。

村ではすぐに校舎^{こうしゃ}を建て^たることができなかつたので、初めは小学校に間^まがりをしながら、勉強をしなければなりませんでした。1972年(昭和^{しょうわ}47年)に町内に3つあった中学校が1つになり今の「奈井江中学校」ができました。



7. 学校の移り変わり

1947年(昭和22年)から他の町に高等学校ができましたが、奈井江村にはなく、多いときには200人以上の生徒が、よその町の高等学校へ通っていました。

1951年(昭和26年)、「砂川南高等学校の奈井江分校」として高等学校が開校されました。

1959年(昭和34年)に、道立の「奈井江高等学校」となり、今の「奈井江商業高等学校」となりました。



7. 学校の^{うつ}移り^か変わり

学校の昔をさがそう